

令和7年度第1回図書館協議会議事録

1 開催日時 令和7年7月10日（木）午後2時～午後3時10分

2 開催場所 浦安市立中央図書館2階 視聴覚室

3 出席者

（委員）館委員長、本多副委員長、林委員、井上委員、花村委員、遠藤委員、
高橋委員、鈴木委員

（事務局）教育長、生涯学習部長、生涯学習部次長、中央図書館長、中央図書館職員6名

4 傍聴人 なし

5 議題

報告事項

- （1）令和6年度利用統計及び実績について
- （2）令和7年度事業計画について
- （3）令和7年度図書館自己点検評価について
- （4）その他

6 議事の概要

報告事項

- （1）令和6年度利用統計及び実績について、事務局より報告を行った。
- （2）令和7年度事業計画について、事務局より報告を行った。
- （3）令和7年度図書館自己点検評価について、事務局より報告を行った。
- （4）その他、事務局より（仮称）舞浜地区公民館の整備スケジュールについて報告を行った。また、今後の行事予定について案内を行った。

7 会議経過

報告事項

- （1）令和6年度利用統計及び実績について、事務局より報告を行った。その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

（委員）ファブスペースは活発に利用されているが、具体的な利用状況について教えてほしい。

（事務局）利用講習会、ものづくり体験イベント、機器操作体験会を毎週末等を開催している。機器の利用や見学も多い。

（委員）利用者の年代層は。

- (事務局) 最も多いのは40代であるが、10代から70代まで幅広い年代の利用がある。
- (委員) コロナ禍と現在とでは、図書館利用者数や利用の仕方は変化したか。また、県立図書館で電子書籍の貸出しを行っているが、浦安市立図書館ではどのように考えているか。
- (事務局) 令和2年度に比べ、貸出点数は8.1%増加している。電子書籍の導入については、本協議会においても協議していただいた。継続的に検討は続けているが、図書館向けコンテンツが少ないこと、金額的に高額であること、利用する権利を購入するものなので利用年数や回数に制限があることなどから、現状では、導入を見送っている。
- (委員) 以前、この協議会でも意見交換したが、図書館では扱いにくいという印象がある。また、導入した他自治体の事例によると活用度が低い状況もうかがえたことから、導入については引き続き動向を注視してもらうのが良いと思う。
- (委員) 電子書籍については、県立図書館では辞書、白書等を中心に導入している。
- (委員) 図書館講演会はどのような内容だったか。
- (事務局) 鶴見大学教授の元木章博氏を講師に、「3Dプリンタがひらく未来」というテーマで開催した。バリアフリー的な観点も交え、3Dプリンタ活用の可能性をお話しいただいた。
- (委員) 貸出数や新規登録が減少している反面、中央図書館の登録者は増えていて、分館の登録者が減っている状況なのか。浦安市は県内トップレベルの図書館だが、登録率に関しては平均より低い。このことについては、どのように分析しているのか。
- (事務局) 中央図書館・分館別の新規登録については後日ご報告する。浦安市では、登録者の累積数ではなく、1年間に一度以上利用があった市民の人数を基に登録率を算出している。
- (委員) 県立図書館では3年間利用のない人の登録は削除しているが、浦安では1年に1回利用がないと人数に入れていないということか。累積登録者数を採用している市町村もあり、比較はしにくい。子どもの利用は増加しているが、貸出しの少ない40代の登録が減少しているのか。
- (事務局) 新規登録者数は多少の増減があるが例年ほぼ横ばいである。
- (委員) 分館の開館日数が少なかった理由は。
- (事務局) 図書館システム用サーバの更新及び蔵書点検を実施したためである。
- (委員) 利用者数と入館者数の関係は。
- (事務局) 貸出しはしないがワークスペースや学習室を利用する方等が入館者には含まれる。
- (委員) 夏休みの小中学生の利用状況、過ごし方は。
- (事務局) 夏休み期間は小中学生の来館が増え、児童フロアがにぎわう。また、イベントに参加する児童も多い。

(2) 令和7年度事業計画について、事務局より報告を行った。その際に表明された意見(質

問) は次のとおり。

(委 員) 市民まつりでのリサイクル資料配布について、人気があり良いイベントだと思う。学校の図書室でも除籍される図書はあると思うので、市民まつりで一緒に配布してはどうか。

(委 員) 学校の除籍図書はかなり傷みがはげしいのではないか。

(事務局) 学校図書館の図書は教育総務部の管理であり、市立図書館の図書は生涯学習部の管理であるため、可能かどうかも含め、確認・調整が必要となる。ご意見として承る。

(委 員) 新規の集会事業は1件だが、継続事業を中心として組み立てているのか。

(事務局) 新規の集会事業である図書館講座は、市民を講師として開催する。好評な集会事業は、ブラッシュアップして継続していくが、新規事業についても適宜検討していく。令和6年度に実施した「としょかんであそぼう!」は、協議会でのご意見から着想を得て企画したものである。

(3) 令和7年度図書館自己点検評価について、事務局より重点項目や今後のスケジュールなどの報告を行った。その際に表明された意見(質問)は次のとおり。

(委 員) 評価項目は毎年度変わるのか。また、重点課題に絞る以前はどの程度の項目数だったのか。

(事務局) 評価項目は毎年度変更する。自己点検評価を開始した当初は、係ごとに全ての業務に渡って行っていたが、点検評価の研修なども踏まえ、当該年度の重点課題3～4項目程度について評価することとした。

(委 員) 評価のために業務量が増加するのは適切ではなく、項目を絞ることは必要だと考える。

(委 員) レファレンスサービスを強化項目としたのは、図書館として力点を置いているからか。

(事務局) そうである。レファレンスの件数は近年上昇しており、調査への支援は司書がいる本市図書館の強みと考えている。

(委 員) 本市の図書館は、近隣自治体の図書館に比べレファレンス件数が多いのが特徴であると言える。

(4) その他、事務局より(仮称)舞浜地区公民館の整備に関連し、図書スペースが併設されることについて報告を行った。また、図書館の今後の行事予定について案内を行った。

以上